

1-12 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。
取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置はお買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

 **警告** 部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

修理課（東日本）	千葉県流山市南流山 2-27-6	TEL 050-1780-4164
修理課（西日本）	大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18	TEL 06-6335-1234

1-12-1 シール関連

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源スイッチを ON にしてもディスプレイ表示が点灯しない	電源コンセントに電気が来ていますか	作業場の電源に電気が来ているか確認してください
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグをコンセントへ確実に差し込んでください
	電源プラグが破損していませんか	電源コードまたは電源プラグを交換してください
	ヒューズが切れていませんか	ヒューズを交換してください
	上カバーが開いていませんか	上カバーを閉じてください
加熱中ランプは点灯しているが、ヒーターが発熱しない、シールができない	ヒーターが切れていませんか	ヒーターユニットを交換してください
	電極とヒーターの接触が悪くなっていますか	電極にヒーターが取り付けられていることを確認して電極台を固定しているビスを締め付けてください
シールベルトが切れやすい	加熱温度を上げすぎていませんか	シールができる最低の加熱温度に設定してください
シールがきれいにできない	袋（フィルム）の厚みに応じた温度設定になっていますか	加熱温度設定値の増減をしてください
	ベルト速度が適切な速さですか	ベルト速度の増減をしてください
	シールベルトに傷がありませんか	シールベルトを交換してください
電源スイッチが自動的に OFF になった 加熱中ランプが点灯したままでヒーター、シールベルトが焼けてしまう	-----	※コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です
シールベルトとコンベアベルトの速度がずれている（シール中に袋（フィルム）が傾いていく）	-----	「1-12-3 コンベアベルトの速度微調整」（→ P.36）を参照して、コンベアベルトの速度微調整を行ってください

処置方法の欄に※マークが付いている処置はお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

1-12-2 エラー表示

この表示が点滅したら	ここを確認してください	対処方法
	シール部のモーターの回転異常が原因です デザインローラー調整ボルトの締め込み過ぎが考えられます	「1-11-4 デザインローラーの調整」(→ P.33)を参照して、デザインローラーの調整ボルトを緩めてください ※上記の対処を行ってもエラーが表示される場合は、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
	上下ヒーターの断線が考えられます	上ヒーターユニットと下ヒーターユニットを交換してください
	上ヒーターの断線が考えられます	上ヒーターユニットを交換してください
	下ヒーターの断線が考えられます	下ヒーターユニットを交換してください
	タコ足配線をしていませんか	タコ足配線をやめてください
	正規のヒーターユニットを使用されていますか	弊社指定のヒーターユニットに交換してください
	温度センサーが外れたり、位置がズレたりしていませんか	ヒーターユニットを交換してください
	温度センサーが外れたり、位置がズレたりしていませんか	ヒーターユニットを交換してください
	温度センサーが故障していませんか	-----
	コンベア部のモーターの回転異常が原因です	コンベア部分を確認してください
	コンベア部分に何か挟まっていますか	コンベアモーターのメタコンプラグを接続されているか確認してください
	コンベアモーターのメタコンプラグが外れていませんか	コンベアモーターのメタコンプラグをしっかりとシール部に接続してください
	-----	※温度センサーの故障が原因ですので、温度センサーを交換するか、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください

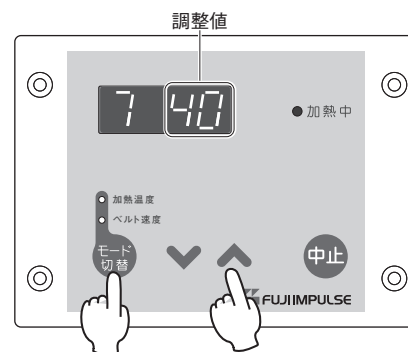
処置方法の欄に※マークが付いている処置はお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

1-12-3 コンベアベルトの速度微調整

シールベルトとコンベアベルトの速度がずれている（シール中に袋（フィルム）が傾いていく）場合、以下の手順でコンベアベルトの速度微調整を行ってください。

△ 注意 シールベルトとコンベアベルトの速度にずれがなく、正常に動作している場合は、コンベアベルトの速度微調整は行わないでください。

- 1 コントロールユニットを操作し、「ベルト速度設定」モードにしてください。（「1-9-8 コントロールユニットでシール条件を設定」（→ P.21）>>> 各モードの設定手順を参照してください。）
- 2 モード切替ボタンを3秒間以上長押しすると、調整値がディスプレイに表示されます。
- 3 数値設定ボタンで数値を加減して調整値を設定します。
（0～99の範囲）
調整値を増加させるとコンベアベルトの速度が速くなります。
調整値を減少させるとコンベアベルトの速度が遅くなります。
- 4 モード切替ボタンを押すと、ディスプレイはカウンタ数値の表示に戻ります。
- 5 袋（フィルム）をシールベルトに通し、シールベルトとコンベアベルトの速度のずれが解消しているか確認してください。ずれが解消しない場合は、上記の1～4の手順を繰り返してください。



2-11 プリンター；主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。

⚠ 警告 部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

修理課（東日本）

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 050-1780-4164

修理課（西日本）

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
印字した文字がかすれる	活字が片寄っていませんか	「2-9-3 活字の交換」（→ P.57）を参照して、活字の片寄りをなくしてください
	活字が摩耗していませんか	「2-9-3 活字の交換」（→ P.57）を参照して、新しい活字に交換してください
	活字受けゴムが傷んでいませんか	「2-9-4 活字受けゴム・ガラステープの交換」（→ P.58）を参照して、活字受けゴムの交換をしてください
	使用するフィルムに合ったプリントテープを使用していますか	「2-4 プリンター；プリントテープについて」（→ P.42）、「2-9-1 プリントテープの交換」（→ P.53）を参照して、使用するフィルムに合ったプリントテープに交換してください
	印字する文字数に合った活字受けゴムを使用していますか	「活字受けゴムについて」（→ P.41）を参照して、印字する文字数に合った活字受けゴムに交換してください
	-----	「2-10-4 活字の傾き調整」（→ P.61）を参照して、活字の傾きを調整してください
印字跡が強く出る ピンホールが発生する	印字温度の設定が高過ぎませんか	「2-8-7 コントロールユニットで印字条件などを設定する」（→ P.51）を参照して、適切な印字温度に設定してください
	活字受けゴムが傷んでいませんか	「2-9-4 活字受けゴム・ガラステープの交換」（→ P.58）を参照して、活字受けゴムの交換をしてください
	印字する文字数に合った活字受けゴムを使用していますか	「活字受けゴムについて」（→ P.41）を参照して、印字する文字数に合った活字受けゴムに交換してください
プリントテープが左右どちらかに片寄る	プリントテープがたるんでいませんか	「2-9-1 プリントテープの交換」（→ P.53）を参照しプリントテープをセットしなおしてください
	活字が片寄っていませんか	「2-9-3 活字の交換」（→ P.57）を参照して、活字の片寄りをなくして下さい

このような時は	ここを確認してください	対処方法
プリントテープが左右どちらかに片寄る	印字温度の設定が高過ぎませんか	「2-8-7 コントロールユニットで印字条件などを設定する」(→ P.51)を参照して、適切な印字温度に設定してください
	-----	「2-10-2 プリントテープの片寄り調整」(→ P.60)を参照してプリントテープの片寄りを調整してください
印字部分のプリントテープがたるむ	設定温度が高過ぎて、袋(フィルム)にプリントテープが引っ付いていませんか	「2-8-7 コントロールユニットで印字条件などを設定する」(→ P.51)を参照して、適切な印字温度に設定してください
印字できない、活字ホルダー部の温度が上がらない	印字機能が OFF になっていませんか	「2-8-7 コントロールユニットで印字条件などを設定する」(→ P.51)を参照して、印字機能を ON にしてください
	プリントテープカバーが開いていませんか	プリントテープカバーを閉じてください
ディスプレイに表示が出ない	プリントテープカバーが開いていませんか 専用コンセントに電源コードが差し込まれていますか	プリントテープカバーを閉じてください 専用コンセントに電源コードを差し込んでください

エラー表示

この表示が出たら	エラー内容	対処方法
	→プリントテープ切れ、またはプリントテープがセンサーを通過していない →プリントテープにキズが入っている	「2-9-1 プリントテープの交換」(→ P.53)を参照して、交換または取り付け直してください
	→印字動作はするが、活字ホルダーが下りたまま止まっている時	・包材の厚みを 2mm 以下にしてご使用ください ・活字受けゴムにガラステープを重ね貼り付けている場合ガラステープを1枚だけにして下さい ・上記の対処方法でも解決されない場合、お買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください
	→印字開始時に上部位置のマイクロスイッチが ON になっていない時	お買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください
	→ヒーターの断線	お買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください
	→サーミスターの故障 →コントロールユニットの故障	
	→サーミスターの故障 →コントロールユニットの故障	

※ 印字機能が ON の時に活字ホルダーセットごと交換すると温度が下がり「41」または「42」の表示が出る場合があります。

その場合は、いったんシーラーの電源を OFF にし、再び電源を ON にしてください。